

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 5 月 31 日

計画の名称	4 賑わいのある市街地の基盤づくり		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	盛岡市
計画の目標			

I にぎわいのある市街地の形成  
 ・地域内への人口定着を図るため、公共施設の整備改善と良好な宅地を整備し、にぎわいのある健全な市街地の基盤づくりを行う。

計画の成果目標 (定量的指標)		定量的指標の現況値及び目標値			備考
		当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 区域内人口 Σ区域内人口 / Σ区域内計画人口 × 100 (%)		(65.85) 65.80	(65.85) 65.83	(65.95) 65.94	上段: () 従前エリアの値 下段: 変更後エリアの値
② 区域内建築物戸数 建築物戸数 (戸)		(5,345) 4,638	(5,348) 4,644	(5,362) 4,658	

上段: 計画 下段: 実施

全体事業費	合計 (A+B+C)	6,199百万円 <b>6,197百万円</b>	A	6,097百万円 <b>6,095百万円</b>	B	0百万円 <b>0百万円</b>	C	102百万円 <b>102百万円</b>	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.6% <b>1.6%</b>
-------	---------------	-----------------------------	---	-----------------------------	---	---------------------	---	-------------------------	---------------------------	---------------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
課内組織にて事後評価を実施	平成28年5月
	公表の方法
	ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業 (道路事業)											上段: 計画	下段: 実施					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
4-A-1	街路	一般	盛岡市	直接	-	区画	改築	太田地区 ((都) 下太田屋敷田線外)	区画整理77.2ha <b>区画整理12.8ha</b>	盛岡市						3,991 <b>3,991</b>	H34
4-A-2	街路	一般	盛岡市	直接	-	区画	改築	都南中央第三地区 ((都) 岩手飯岡駅三本柳線外)	区画整理44.0ha <b>区画整理5.4ha</b>	盛岡市						1,043 <b>1,042</b>	
4-A-3	街路	一般	盛岡市	直接	-	区画	改築	道明地区 ((都) 津志田下飯岡線外)	区画整理70.6ha <b>区画整理6.2ha</b>	盛岡市						995 <b>994</b>	H34
4-A-7	道路	一般	盛岡市	直接	-	市町村道	改築	(他) 市道三上川原2号線外	道路改築L=0.2km <b>道路改築L=0.1km</b>	盛岡市						68 <b>68</b>	H34
											合計	6,097 <b>6,095</b>					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
											合計					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業							上段：計画 下段：実施					全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)						
										H22	H23	H24	H25	H26		
4-C-1	施設整備	一般	盛岡市	直接	-	改築	太田地区(建物補償・造成)	建物補償・造成整備面積10.7ha	盛岡市						102	H34
								建物補償・造成整備面積2.6ha						102		
													合計	102		
														102		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
4-C-1	区画道路築造(4-A-1)と一体で建物補償及び宅地造成を行うことにより、良好な宅地を整備し健全な市街地を確保する。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		地区内道路の整備改善と良好な宅地の整備を実施したことにより、平成26年度末時点で「地区内の計画人口に対する定着人口率」が67.96%(当初現況値+2.16%)、「建築物戸数」が4,877戸(当初現況値+239戸)となり、にぎわいのある健全な市街地の基盤づくりが推進された。			
II 定量的指標の達成状況	指標①(地区内人口)	最終目標値	65.94%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	67.96%		
	指標②(区域内建築物戸数)	最終目標値	4,658戸	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	4,877戸		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

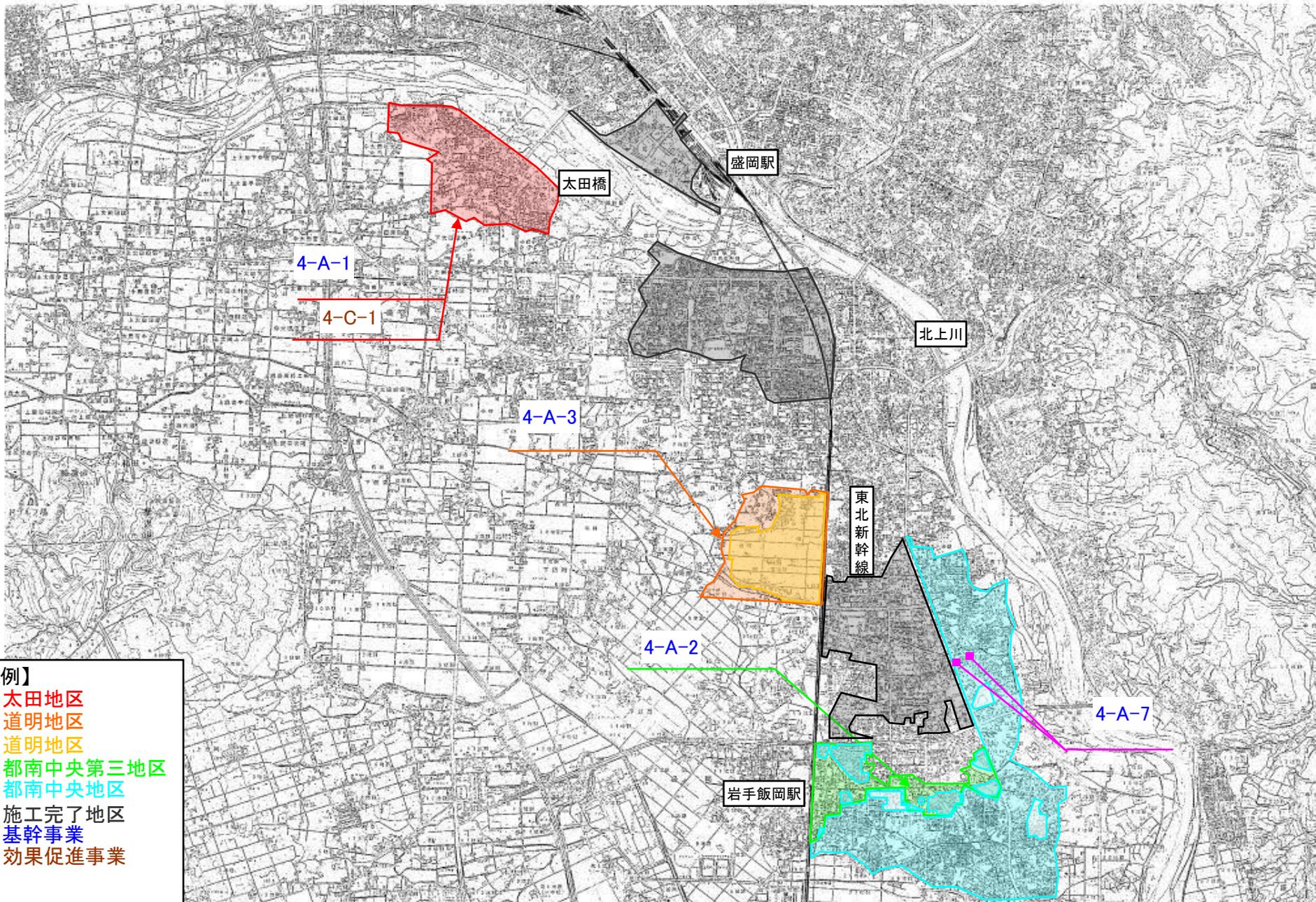
3. 特記事項(今後の方針等)

・引続き各事業を推進し、公共施設の整備改善と良好な宅地を整備することによりにぎわいのある健全な市街地の基盤づくりを行う。

(参考様式3)

(参考図面) 活力創出基盤整備

計画の名称	4 賑わいのある市街地の基盤づくり	交付対象	盛岡市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



【凡例】

- 太田地区
- 道明地区
- 道明地区
- 都南中央第三地区
- 都南中央地区
- 施工完了地区
- A 基幹事業
- C 効果促進事業